



広報かみかわ

11

2024 No.228

人の動き

■ 2024年9月30日現在（外国人含む）

人口 10,193 男 4,855 女 5,338 先月比（男 +2 女 +6）

■ 9月中の異動（人） 転入 66 転出 62 出生 8 死亡 4



写真：10月は町内各地で秋祭りが行われました。
13日には福本大歳神社で、福本・柏尾による
屋台の練り合わせが披露されました。

P 2 **【特集1】 令和5年度決算がまとまりました**

P 8 令和6年度ブロック別町長懇談会

P10 かみかわ木造インターンシップ

P14 町からのお知らせ

P25 まちの話題

P30 すこやか情報

P32 公民館へ行こう！

P33 おひさま☆きらきら通信

P34 暮らしの情報

P36 カーミンの観光案内所だより

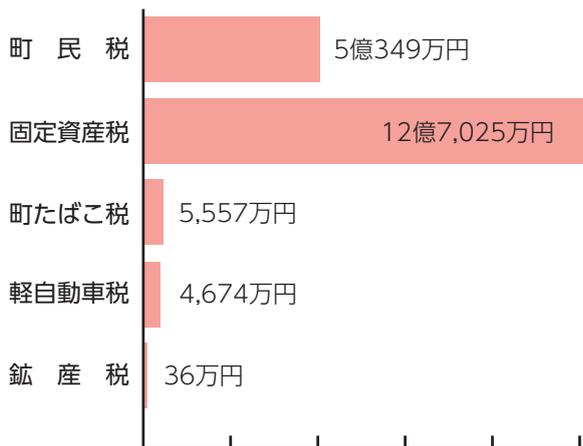
令和5年度決算が まとまりました

問 総務課 ☎34-0001

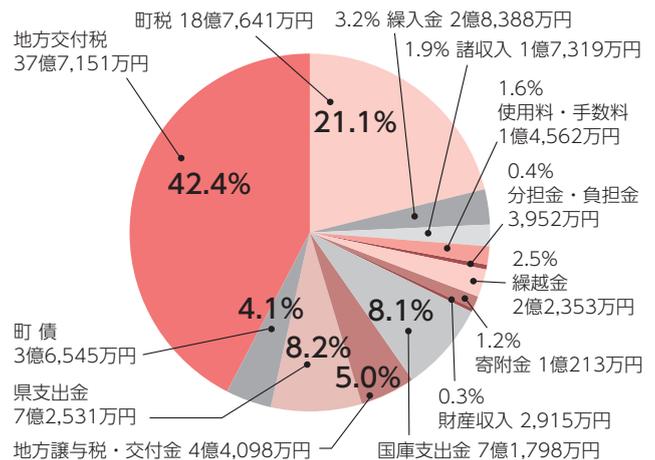
令和5年度の一般会計と特別会計、企業会計の決算がまとまり、9月定例会で認定されました。町の予算は、皆さまの税金や国・県からの補助金などによって運営されています。この1年間にどのくらいのお金が入り、どのように使われたかを一般会計を中心にお知らせします。

令和5年度の一般会計の決算は、歳入総額**88億9,466万円**、歳出総額**87億73万円**、差引**1億9,393万円**の黒字となりました。また、決算状況を町HPにも掲載しています。

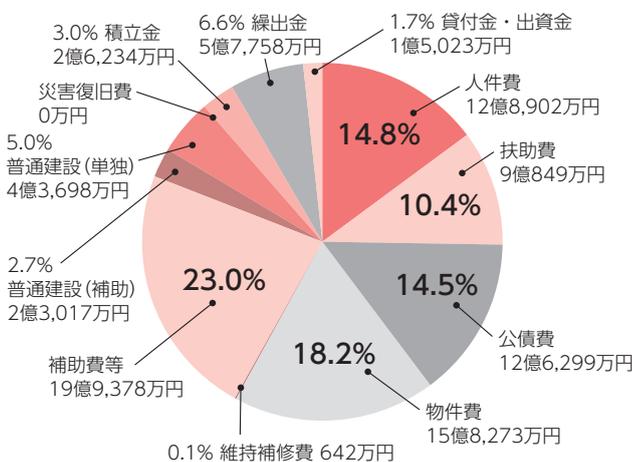
町税の内訳 総額18億7,641万円



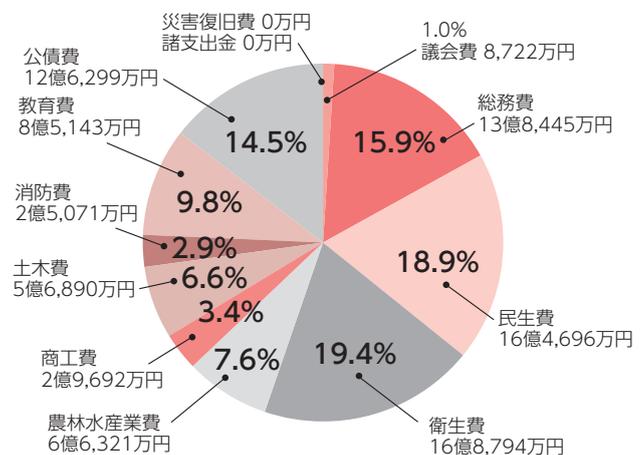
歳入 総額88億9,466万円



性質別歳出 総額87億73万円



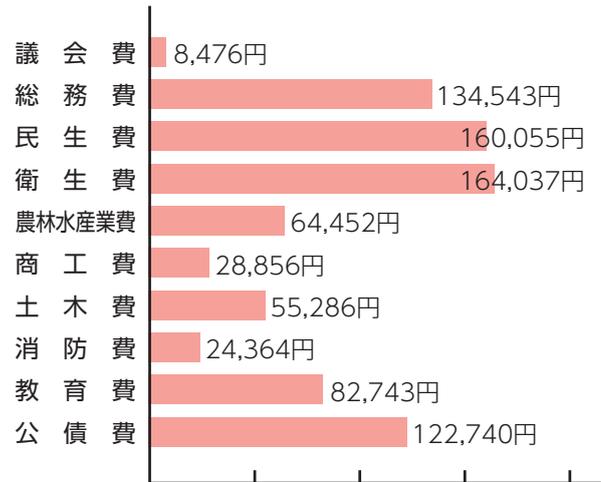
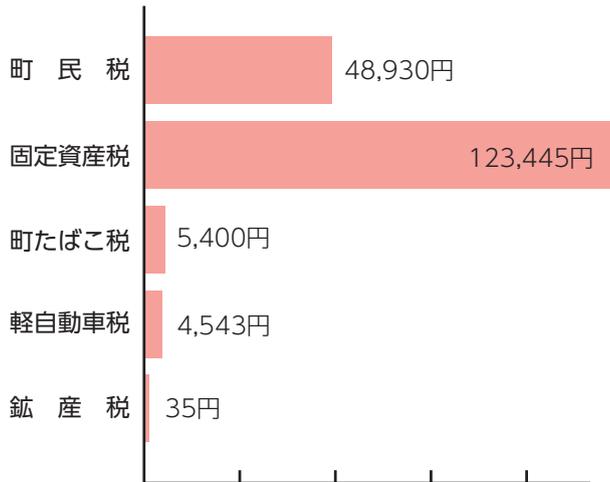
目的別歳出 総額87億73万円



特集1 令和5年度決算

町民一人当たりの
納められたお金は**182,353円**でした。

町民一人当たり
使われたお金は**845,552円**でした。



一般会計および特別会計、企業会計の決算

区 分		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		88億9,466万円	87億 73万円	1億9,393万円
特 別 会 計	介護療育支援事業特別会計	7,330万円	6,136万円	1,194万円
	産業廃棄物処理事業特別会計	5,162万円	5,162万円	0万円
	寺前地区振興基金特別会計	2,846万円	2,846万円	0万円
	長谷地区振興基金特別会計	646万円	646万円	0万円
	国民健康保険事業特別会計	13億2,666万円	13億1,808万円	858万円
	後期高齢者医療事業特別会計	1億9,794万円	1億9,446万円	348万円
	介護保険事業特別会計	15億2,852万円	15億 647万円	2,205万円
	土地開発事業特別会計	5,780万円	30万円	5,750万円
	訪問看護事業特別会計	1億5,186万円	1億1,556万円	3,630万円
	浄化槽事業特別会計	5,730万円	2,140万円	3,590万円
企 業 会 計	水道事業 収益的	3億8,951万円	4億 22万円	▲1,071万円
	下水道事業 収益的	5億9,539万円	5億1,678万円	7,861万円
	公立神崎総合病院事業 収益的	32億2,730万円	33億9,754万円	▲1億7,024万円
総 合 計		165億8,679万円	163億1,944万円	2億6,734万円

※各会計、および総合計は万円未満を四捨五入していますので、上記の各会計の合計と総合計とは一致しません。

令和5年度で実施した主な事業（一般会計）



議 会 費	
● 議会運営事業	6,153万円
総 務 費	
● 寄附講座設置事業(リハビリテーション医療の向上を目的とした神戸大事業への寄附)	3,300万円
● ふるさと納税推進事業(ふるさとづくり応援寄附金受入額 3,324件 53,874万円)	2,548万円
● 財政調整基金積立事業	8,871万円
● 公共施設維持管理基金積立事業	2,160万円
● 企業版ふるさと納税基金積立事業	5,660万円
● JR播但線利用促進事業	1,538万円
● 粟賀小学校跡地整備事業	4,727万円
● 地域自治協議会設置運営事業	867万円
● コミュニティバス運営事業	1億2,607万円
民 生 費	
● 防犯対策事業	568万円
● 障害者自立支援法による各種給付事業	3億6,442万円
● 保育所運営事業	2億2,955万円
● 国民健康保険事業特別会計繰出金事業	8,455万円
● 介護保険事業特別会計繰出金事業	2億5,250万円
衛 生 費	
● 公立神崎総合病院運営事業補助金および出資金	5億2,440万円
● 水道事業会計補助金	9,008万円
● 中播北部フリースセンター運営事業(負担金)	3億4,383万円
● 下水道事業会計補助金および出資金	3億3,366万円
● 出産・子育て応援給付金事業	412万円
農 林 水 産 業 費	
● 有害鳥獣対策事業(サル、ヌートリア、アライグマ他)	966万円
● 地籍調査事業(山林部調査)	9,343万円
● 森林環境譲与税活用事業	6,734万円
商 工 費	
● 商工会補助金	2,060万円
● 町観光協会補助金	1,282万円
● 観光施設等管理事業(指定管理料、修繕料、補修工事他)	1億3,617万円
土 木 費	
● 道路橋りょう維持改良事業(町道13路線他)	9,687万円
● 道路メンテナンス事業(長寿命化修繕計画)	8,803万円
● 河川改修事業(4件)	901万円
● 空き家等実態調査事業	549万円
● 多自然居住推進事業	2,076万円
消 防 費	
● 姫路市消防局消防事務委託事業(消防車両更新負担金含む)	1億4,360万円
● 非常備消防団活動事業	2,341万円
● 消防施設整備事業(消防車両等の購入他)	2,779万円
● 防災行政無線運営事業	1,345万円
教 育 費	
● 小中学校、幼稚園管理事業	3億1,686万円
● 神河町史編纂事業	1,068万円
● 公民館管理事業(中央公民館、神崎公民館、人件費含む)	5,396万円
● 学校給食運営事業(小・中・幼)	1億4,535万円
公 債 費	
● 長期借入債の元金償還事業	12億2,066万円
● 長期借入債の利子償還事業	4,233万円



新型コロナウイルス対応事業一覧（交付金充当額）



令和5年度実施の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金の活用事業は、次のとおりです。

① 価格高騰対策低所得世帯支援商品券事業（低所得世帯に3万円の商品券を交付）	34,344千円
② 環境保全型農業推進事業（化学肥料の使用低減等の環境保全型農業の取組みに対する補助）	1,629千円
③ がんばろう商店街お買い物キャンペーン事業（20%のプレミアム付き商品券を5,000セット販売）	3,941千円
④ 価格高騰対策生活者支援商品券事業（全世帯に1万円の商品券を交付）	41,862千円
⑤ 商工業者事業継続支援事業（キャッシュレス化等に取組む事業所へ補助）	1,583千円
⑥ インフルエンザ予防接種推進事業（インフルエンザ予防接種の推進）	77千円

令和5年度実施の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業は次のとおりです。

⑦ 物価高騰対策低所得世帯支援給付金給付事業（低所得世帯に7万円の給付金を支給）	68,875千円
--	----------

合計 152,311千円



① 価格高騰対策低所得世帯支援商品券

子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（低所得世帯の子ども一人につき5万円の給付金を支給）

7,671千円

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業（新型コロナウイルスワクチン接種を迅速にすすめるための体制整備）

21,220千円

指標でみる神河町の財政事情 経常収支比率 93.1%

比率の状況

歳入における経常一般財源額は、町税（固定資産税）が増加したが、普通交付税が減額となり、全体として微増しました。一方、歳出における経常的経費は、公債費、繰出金等の増により、増加しました。

この結果、前年度よりも**3.2ポイント比率が悪く**なりました。

今後を見通すと歳入における経常一般財源である町税、普通交付税が人口減等により、確実に減少していくものと予測されることから、なお一層の歳出削減が必要となります。真に必要な事務事業の絞り込みによる財源の集中化に取り組んでいかなければならない状況です。



用語の説明

財政構造の弾力化（余裕）を示すものであり、町村は70%程度が妥当とされています。経常一般財源から経常的経費に充てられる割合が経常収支比率となり、比率が低い方が自由に使える資金が多くなります。

『経常的経費』……支出のうち人件費や物件費、公債費など、毎年必ず支払う経費

『経常一般財源』…使途が特定されない財源で毎年常に入ってくるもの。
町税や普通交付税など

健全化判断比率および資金不足比率について

平成19年6月に交付された『地方公共団体の財政の健全化に関する法律』の規定により、令和5年度決算に基づく神河町の健全化判断比率および資金不足比率について公表します。

① 健全化判断比率

(単位 %)

	令和5年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.73	20.00
連結実質赤字比率	—	19.73	30.00
実質公債費比率	11.9	25.0	35.0
将来負担比率	51.7	350.0	

注)実質赤字比率および連結実質赤字比率については、実質赤字額および連結実質赤字額がないので「—」と記載しています。
実質公債費比率は、令和3・4・5年度の3か年平均の比率となります。

② 資金不足比率

(単位 %)

特別会計の名称	令和5年度決算	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
下水道事業会計	—	20.0
公立神崎総合病院事業会計	—	20.0
土地開発事業特別会計	—	20.0



※資金不足が生じてない会計は、「—」と記載しています。



財政の健全化判断比率等の指標に関する用語の説明

実質赤字比率

一般会計等(普通会計)を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。
市町村(県)においては、財政規模に応じ11.25%~15%(3.75%)以上で早期健全化団体に、20%(5%)以上で財政再生団体となります。

連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。
市町村(県)においては、財政規模に応じ16.25%~20%(8.75%)以上で早期健全化団体に、30%(15%)以上で財政再生団体となります。

実質公債費比率

一般会計等(普通会計)が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。

この比率が18%を超えた場合、地方債を発行するためには国の同意ではなく、許可が必要となります。

また、25%以上になると早期健全化団体となり一部の地方債の発行が、35%以上になると財政再生団体となり多くの地方債の発行が制限されます。

将来負担比率

地方債の残高をはじめ一般会計等(普通会計)が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。

市町村(県)においては、350%(400%)以上で早期健全化団体となります。

資金不足比率

公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。

比率は各公営企業会計毎に算定することとされており、20%以上で経営健全化団体となり、早期健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。



元気・輝く地域づくり に向けて

地域自治協議会



問 総務課 ☎34-0001

『防災力』を強化!!
— 5区に防災倉庫を設置 —



床面積は9.42㎡
(2.85坪)

福本区
揚羽ホール
北側

粟賀北ブロック地域自治協議会は、地域の現状と課題に示す地域の課題解決、および地域の個性や実情に応じた地域づくりのために、5分野に分けて取組み始めています。

この度地域の安全、安心および活性化の取組みとして、ブロック内5区に防災倉庫の購入と設置を行いました。防災倉庫はこれまで各区で保管されている物品および今後購入(R7購入予定)する防災資機材の整理や保管を行い、今後の災害時の活動や防災活動に役立てていきます。

**『地域のつながり、
まちを愛する心のつながり』**
粟賀北ブロックからの活動紹介です!



根宇野区
公民館
北側



中村区
丸池東側
イベント用
倉庫横

粟賀北ブロックは、今年度から様々な形で防災活動および防災意識の向上を図る活動を行ってまいります。今年度11月には各区において防災訓練、防災活動を実施予定です。(こちらは各区でひょうご安全の日推進事業(兵庫県事業)等を活用しながら実施予定で自治協議会としてできる限りの支援を行ってまいります。)各区でご案内が行われると思いますが是非当日のご参加をよろしくお願いいたします。



粟賀町区
共同
駐車場内



山田区
新生館
北側



防災用品を
チェック



◇◆少子・高齢化、地域の担い手確保は深刻です。神河町では、各区が協働または助け合って地域の困りごと解決や元気づくりに取り組むため15年間の財政支援を前提に各行政ブロックでの地域づくりを進めることとしています。是非、ご参加、ご支援・ご協力をお願いします◆◇

越知谷ブロック

5月24日(金) 大畑コミュニティセンター

- 町道高坂線の位置付けと修繕について
- 作畑区秀峰館下部の護岸石積みの改修
- 間伐事業による材木搬出の際の積載量の指導を
- 農地石積崩落の復旧費の補助制度の拡大を
- 火災時のポンプ車出動に関する仕組み変更を
- 水路の図面(字限図)における旧水路の整理を
- 作業道法面崩落による保護工事と地元負担について
- 越知川内の立木伐採のため、河川境界の確認を
- 作業効率の悪い場所での空き家解体助成を
- 県道岩屋生野線の越知・大畑間の拡幅と立木の伐採を



町道高坂線
宮の谷橋付近▶

粟賀北ブロック

5月28日(火) 中村ドリームホール

- 集会施設の修繕補助で駐車場の修繕は
- 県道加美穴栗線(病院前)修繕工事の県への要望強化を
- 景観形成地域の住居建築の支援の継続を
- 神崎フード前の街路灯の点灯を
- 東山谷川の浚渫工事と堤防の嵩上げを
- 有機的な運営に向けた自治会の改革を
- ふるさと納税の寄付額の状況について
- 人口減少対策のソフト事業への拡充を



県道
加美穴栗線
病院前付近▶

ブロック別町長懇談会

注目の

第15回目となる令和6年度ブロック別町長懇談会を、区の三役様を対象に5月24日から6月14日まで、越知谷ブロックを皮切りに、40集落を7つのブロックに分けて開催しました。

今年度は、令和5年度に策定した第2次長期総合計画後期基本計画の概要説明と、令和6年度の町の重点施策について説明を行ったあと、区・地域の抱える深刻な課題や町政に対するご意見や提言をいただきました。町からは町長をはじめ、副町長、教育長、幹部職員が出席し、より深く、中身の濃い、意見交換を行うことができました。

問 総務課 ☎34-0001

粟賀南ブロック

5月31日(金) 東柏尾区集落センター

- 町道向本寺前線の減速注意喚起を
- 集落から町へ選任する委員リストの提供を
- ほ場整備の再整備の詳細を
- 松ヶ瀬グラウンドの管理方法の検討を
- 固定費(人件費)削減による財政状況の改善を
- 一般職員への人事評価制度の導入を

町道
向本寺前線
西側入口付近▶



※多くのご意見を頂きましたが、すべてを掲載することはできませんでした。掲載分のほか、町長懇談会へのご意見やお問合せは、総務課までお願いします。



大山ブロック

6月4日(火) 杉宮農センター

- 補助や無償配布などの制度の見直しを
- 猪篠川内の立木や竹の伐採を
- 国道西側歩道植栽の伐採要望に対する県回答は
- 町が取り組んだ事業や企業誘致の現状は
- 自治協議会と町長との協議の場を
- 町指定の避難場所へのAED設置を
- 神崎高等学校存続を県に要望を
- 人口減少でもいきいきと生活できる町への移行を(パラダイムシフト)
- 国道の溢水工事の早急な対応を
- 長谷地区のデマンドバス運行の実績と要望



▲猪篠川の草木の繁茂状況

寺前ブロック

6月7日(金) 寺前地域交流館

- 県道長谷市川線の県への修繕要望の強化を
- 町広報やホームページへの掲載は迅速に
- 通学定期の高校生までの補助拡大を
- 町道大河発電所線の舗装整備を
- 市川の中州の草刈りの具体的な計画は
- マッチングアプリ補助とは
- 複数の子どもを同じ施設で延長保育してほしい
- ホームページでも河川映像の配信を
- 営農組合の環境保全農業推進事業の取組みについて



県道長谷市川線
新野駅から南側▶



みんなが元気になる！
～大好き！私たちの町 かみかわ～

令和6年度

各会場での主な意見



長谷ブロック

6月14日(金) センター長谷

- 砂子橋バイパスでの擁壁崩落対策を
- 本谷工事における町の説明と業者への指導
- 犬見川の環境整備事業によるヒューム管の詰まり対策を
- 移住定住の取組みによる移住者の増減は？
- 未整備道路部分の工事要望
- 人口減少に伴う区の合併・共同区運営の進展は
- 鳥獣対策(熊等)の町の取組み強化を
- 老人クラブ加入者拡大に向けて町の指導を
- 鳥獣対策工事(電柵・鹿策)と急傾斜地工事の時期の調整を



砂子橋バイパス
(町道本村大河原線)▶

小田原ブロック

6月11日(火) 南小田農村環境改善センター

- 小田原街道(南小田・長谷間)の整備と神河・穴栗間のトンネル化実現
- 県道加美穴栗線拡幅および側溝改良工事の早期着手を
- 集会所改修(バリアフリー化)の補助制度を
- 相続されていない空き家の解消にむけて支援を
- 消防倉庫の解体・撤去と防火用水(ため池)の埋め立て補助を
- 猿対策(鳥獣被害防止総合対策事業)の有効性は？
- 町営住宅(新野・中村団地)入居者減少の原因は？
- 空き家による損害責任は法的に誰が持つのか？
- 鳥獣防護柵の助成金活用の条件とは



県道加美穴栗線
上小田集会所付近▶



かみかわ木造インターンシップ

かみかわ木造インターンシップ事業は今年度で20周年を迎え、最終年度となりました。20年間、一番近くで見守ってこられた中農実行委員会会長にこれまでを振り返っていただきました。



日本工科大学校 理事長
実行委員会 会長
中農 一也 様

二十年間を振り返って

『かみかわ木造インターンシップ』は、神戸町の街の活性化と、木造建築の匠の技の継承を目的として平成17年から産学官民連携で実施してきました。

事の始まりは、平成16年の旧神崎町立越知谷第二小学校の閉校時に開催された「作新地域づくりフォーラム」です。地域の活性化のために日本工科大学校で学ぶ学生のパワーを越知谷地区に投入したいという私の提案を建築職人で構成する「兵庫土建組合神崎分会」と地域ボランティア団体「夢花フォーラム」が快く受け入れて頂いたのが契機です。

これまで、越知谷流域のバス待合所や神社、空き家など大小29件の木造建築の新築・改修工事に取り組み、特にこの10年は、『中村・栗賀町地区』で歴史的景観に配慮した建物の修景に取り組みできました。この取り組みは少なからず街の活性化に寄与できたのではないかと自負しています。

延べ五百名以上の学生が参加

学生は、兵庫県、沖縄県、京都府の建築教育を行う学校11校から、延べ500名以上が参加しています。学生達は、匠の技とものづくりの難しさ、完成時の達成感や楽しさを学ぶことができました。そして、地域住民からの感謝の言葉を頂き、日頃学んでいる技術が社会の役に立つことを実感し人間的にも成長する機会となりました。

令和6年度 かみかわ木造インターンシップ 実行委員会



新海 義雄 様



横田 辰雄 様



吉岡 明広 様





木造塀が完成して

木造インターンシップで建築技術を学ぶ学生さん、それを支え指導される匠の皆さん、お互いの姿に木造建築の良さを見た感じがします。

銀の馬車道沿いの完成した木塀は景観にマッチし、資料館の開設にも取り込まれ、感謝しております。ありがとうございました。(松本 健 様)



これまで無事故で事業を完遂できたのも、関係者の皆様のお陰だと心から感謝しています。今年度で一区切りをつけることになりましたが、今後とも何らかの形で神河町の街づくりに貢献したいと考えています。本当に有難うございました。



二十年間の参加校一覧

【兵庫県】

- 日本工科大学校
- 東播工業高等学校
- 龍野北高等学校
- 尼崎産業高等学校
- 神崎高等学校

【京都府】

- 宮津高等学校

【沖縄県】

- 沖縄工業高等学校
- 美里工業高等学校
- 名護商工高等学校
- 浦添工業高等学校
- 南部工業高等学校

※参加校順



河合 英明 様



横田 鉄平 様



岸田 智也 様



前田 友和 様

2013

⑨



「大畑宮前」バス停新築
「越知谷小学校前」花壇改修

2009

⑤



「宮の下」バス停新築

2005

①



「越知谷小学校前」バス停新築

二十年の歩み

かみかわ木造インターンシップ

2010

⑥



「越知」バス停新築

2006

②



「越知谷小学校前」花壇
「山村留学センター」案内塔

2011

⑦



「グリーンエコー笠形前」バス停新築

2007

③



「大原口」バス停改修
「作畑大歳神社」修繕

2014

⑩



銀の馬車道交流館
古民家再生

2012

⑧



「上垣内」バス停新築
「新田ふるさと村」机・椅子製作

2008

④



「新田大歳神社」お堂の改築





「秋山様駐車場」「小川様駐車場」
「小林邸」木造塀修景工事



難波倉庫修景工事
粟賀の驛 看板設置工事



銀の馬車道交流館
大松邸 改修工事



「前田邸」「成田邸」木造塀修景工事



神姫グリーンバス(株)外塀修景工事
粟賀町ゴミステーション修景工事



「フジヤストアー」外観修景工事



「粟賀町駐車場」木造塀修景工事

木造建築技術の継承、地域住民と地域や都市部の学生との交流による地域活性化を目的として、2005年より開催してきた「かみかわ木造インターンシップ」が2024年で20周年を迎え、最終年度となりました。これまでご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

日本工科大学校、他10校の生徒の皆さんが、これまで地域と協力して新築・修景作業をしてきた物件をご紹介します。



「松本荘一郎資料館」木造塀修景工事
粟賀小学校跡地東屋 新築



「難波酒飯店」外観修景工事



銀の馬車道交流館
粟賀の驛 改修工事